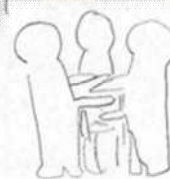


2期生だより

9月15日(金)鹿角市立記念スポーツセンターで統合校1年生交流事業②が行われました。今回の交流事業は、統合後の学校生活をスムーズにするため生徒間の親睦を深めることを目的とし、午前は5名の講師(大館少年自然の家)の指導のもと、PA研修として様々なゲームに取り組みました。午後はいくつかのグループに分かれ、「新生・鹿角高校で大切にしたいこと」をテーマに車座トークを行いました。各班の発表からは「文武両道でみんなが活躍できる学校」「いじめがない仲の良い学校」「各校の垣根をなくし、雰囲気の良い学校」「明るくみんなが楽しめる学校」などの意見を聞くことができました。活動している生徒の様子からも、それぞれが有意義な時間を過ごすことができたと感じています。まだ先のことだと思っていた3校統合もあと半年になりました。交流会で打ち解けた気持ちを継続しながら、来年度4月の統合を迎えたいと思っています。

さて、3校の1年部では統合校に向けた準備として、現在2年次以降のコース希望調査(最終版)の取りまとめを行っています。入学以来、担任との面談等を重ねながら自身の進路を固めてきたと思います。今の自分の気持ちを“未定”でごまかすことなく、しっかりとした考えをもち、自分の足で夢の実現に向かって歩んで欲しいと思っています。統合校2期生は、生徒1人1人が主体的に行動できる学年であって欲しいと思いますので、御家庭での御協力もよろしくお願ひします。



以下に1年生交流行事(PA研修)に参加した生徒の感想を載せましたので、ご覧ください。

少年自然の家の方々によるPA研修のおかげで、それぞれの学校の人たちのことを、今まで以上に理解でき、来年の鹿角高校への不安が少なくなりました。これまでの学校生活から比べて、人数も空間も変わりますが、これからは頑張りたいと思いました。(十和田高)

3校で交流してみて、初めて話す人がたくさんいて緊張したけど、積極的に話してくれる人が多くて嬉しかったです。同じ班の人で、今年の各校の話と、来年の話をとくさんして、統合が楽しみになりました。(小坂高)

小坂高校、十和田高校の人たちと楽しみながら交流することができました。また、花輪高校同士でも他クラスの人と交流することが今まであまりなかったので、今回でさらに仲を深めることができました。やはり、初めて会う人と話をするのはとても勇気がいることですが、交流事業を通して最初の壁を乗り越えられたと思います。「鹿角高校」をもっと良い学校にしていきたいです。(花輪高)

今回の交流事業を通して、たくさんの人と仲良くなることができました。交流事業で強く印象に残っているのは「しゅうまいゲーム」です。簡単だと思ったけど、実際にはとても難しいゲームでした。難しいゲームだからこそ、このゲームをやった人とはとても仲良くなれた気がしました。(十和田高)

今日の1年生交流事業では、普段はほとんど一緒にいない十和田・小坂の1年生と交流しました。1年後に統合ということで、とても雰囲気よく時間を過ごすことができました。どのような人と同じクラスになるか分かりませんが、楽しく過ごしていきたいです。

(花輪高)



他校の人たちと交流をして、初めはとてもソワソワしていたけど、みんないい人で安心しました。まだ慣れない部分はあるけれど、統合への不安は少し減り、気持ちが軽くなったような気がします。中学のときの友達とも、久しぶりに会うことができ嬉しかったです。統合したら、みんなが発表した目標を達成できるように、過ごしていきたいです。

(小坂高)

花輪・十和田・小坂の3校が集まったの交流会でしたが、花輪にも知らない人がたくさんいたので、様々な人との関わるきっかけができて良かったです。特に印象に残っているのは「シュウマイじゃんけん」で、知らない人とも緊張せずに盛り上がる事ができて楽しかったです。来年からも今日のように学校やクラス関係なく楽しく過ごしたいです。

(花輪高)

